愛知県高齢者生活協同組合　２０１９年

たより

４　月

第２１４号

＜発行＞愛知県高齢者生活協同組合・本部事務局
〒４６０－００２１　名古屋市中区平和２－２－３６
電　話　０５２－３３１－４８５３　　FAX　０５２－３３１－２７３５
ホームページ　https://aichikoreikyo.web.fc2.com/

●もくじ●

地域福祉事業所代表者会議・・1～2
新入職員紹介、児童デイほほえみで初の卒業生！・・・・・・・・・・・2
上映会を開催しました！、理事会だより・・・・・・・・・・・3
第２３回通常総代会議案（要旨）・・・・・・・・・・・・・・・・4～7
生き生き旅行のご案内・・・・・・8

高齢者生協らしいケアの実現に向けて

～レディヤン春日井で地域福祉事業所代表者会議開催～

三月二四日午前一〇時より、春日井市鳥居松町「レディヤン春日井」視聴覚室にて地域福祉事業所代表者会議が開催され、延べ四六名が参加。二〇一九年度の事業計画を、グループワークを交えながら熱心に討議しました。

今回は、一日の行程で開催され、午前中は高齢者生協連合会・副理事長の坂林哲雄さんにより、ワーカーズコープ法成立を控えて「協同労働と高齢協の組織強化」のテーマで講演されました。話の中では、奈良県のデイサービス「おたがいさん」の実践が大きく取り上げられ、そこでは職員も利用者も一緒に働き、本人の「やりたいこと」を生かして収益へとつなげるサービスを展開しており、人の尊厳を守ることと、実際に社会参加につなげることを両立するという実に興味深いもので、高齢協でこそ取り組むべき課題であり、「自分たちの取り組んできた良い実践をもっと地域でアピールすべきだ」と強調されました。。

実践事例について講演する坂林さん

その後は各地域福祉事業所からの事例報告を中心に行いました。今年の報告の傾向は、夫婦や家族ともに老いていく過程で起きがちな問題が目立ち、サービス利用開始のころからの過程がつづられた報告原稿からは、地域福祉事業所としてそれぞれの立場で連携をして関わった人たちの切なさや感慨までも伝わってくるものでした。

★初めての上映会も好評！

関連記事は3ページ

午後から行われた上映会では、新人介護士と一人の利用者との交流を描いた映画「ケアニン」を全員で鑑賞しました。後にご紹介するような感動が寄せられています。

午前中の講演や事例報告、映画などをもとにして、【高齢協らしいケアの実現に向けて】というテーマに向けて、自らのケアをもう一度振り返ってみようという試み、実現への取り組みを出席者全員、大いに語り合いました。

おしらせ

愛知県高齢者生協　本部事務局はこの度、平成三一年四月一日をもって左記に移転いたしました。
〒四六〇－〇〇二一
名古屋市中区平和二丁目二番三六号
へいわ会館四階

曼荼羅＋チャートの「マンダラート」自由な発想で意見を出し合おう！

マンダラート用の大きな模造紙を前に、真剣な雰囲気

メジャーリーグで活躍している大谷選手も学生のころ採用していたという「マンダラート」を使って、みんなで考えをまとめていきました。

制限時間が少なかったこともあり、はじめての職員には戸惑いもあったようですが、自由に思ったことを言葉にするうち、次々と頭に浮かんで来ることが多いようです。

「高齢者生協らしさとは？」をポイントに、原点に立ち返って「寝たきりにならない、しない」「独りぼっちの高齢者をなくそう」というスローガンを再度思い返し、グループ討議が始まりました。

介護や福祉の、根幹の制度や環境が厳しくなっていく中、利用者、職員とも生きがいや楽しさのあるケア、持続可能性のあるサービスを作り出すにはどうするのか、など活発な討議となりました。

新入職員さん、いらっしゃ～い！

小島　泰子さん　まったり

一月から「まったり」で介護支援専門員を兼務しています。以前は大規模デイに勤めていたせいか、まったりの家庭的な雰囲気に温かみを感じます。ケアマネ業務にはまだ戸惑いや不安もありますが、いろいろな方に支えられながら利用者様、家族様に寄り添っていきたいと思います。

児童デイほほえみで初の卒業生！

この春、初めて二名の「卒業生」を迎えた児童デイほほえみ。放課後等デイサービスは就学中の児童が対象なので、高校卒業後はほかの就労支援または生活介護（デイサービス）事業所を利用することになります。ほほえみで初めての「卒業生を祝う会」を開催し、ネーム入りのボールペンとお祝いカードをプレゼント。卒業生の一人がお礼の言葉をメモにして来所し「ありがとうございました！」…職員一同感激しながらお祝いしました。卒業後も秋の「ほほえみ祭り」に参加することを約束して、「またね！」とお別れしました。（児童デイほほえみ一同）

かんたん料理

残りご飯でみたらし団子

材料【だんご】ごはん1膳、片栗粉大さじ2、水大さじ2、
【たれ】醤油大さじ2、砂糖大さじ2、みりん大さじ2、片栗粉大さじ1、水80cc

1.温かい残りご飯と片栗粉を入れて、麺棒を水で濡らしながら潰す。粒が残っていてもOK！めやすは丸められるくらいの感じ！

2.鍋にお湯を沸かし沸騰したら、1を一口大　に丸めて投入し　3分程茹でて、皿にあげる。

3.フライパンにサラダ油を引き、　団子に焼き目をつける。

4.フライパンにみりんと醤油、砂糖を入れて煮立たせたら3.の団子を入れて絡め、水溶き片栗粉を入れて再度、絡めて出来上がり！

（クックパッド参照）

「ケアニン～あなたでよかった～」上映会を開催!!

実際の介護の現場をつぶさに取材し、生の言葉をそのまま生かして作られた映画が昨年から静かに話題になっていました。

愛知高齢協では、今回の代表者会議にこの映画の上映会をやってみようと企画してみました。

そして上映後、自分の家族や実際にかかわってきた人たちことを重ね合わせて万感胸に迫り、思わず涙ぐむ人も…。

映画は、ただのきれいごとでは済まない介護の実際を、きちんと映し出していました。当日のアンケートの中から、その感想を抜粋してみます。

「『介護』と力まず、利用者に寄り添い普通の日常生活をしてもらう、という状況を作り出すことが大切。」「『介護』という言葉をなくしたい、と言っていた所長の最後のセリフ、考えさせられました。」「自分らしく生きていくことのサポートは大変難しいが、やればやった分だけとてもやりがいのあることだと思った。」など、皆さんの心洗われるような感じが伝わります。

「認知症になっても、人生終わりじゃない。僕が終わりになんてさせない。」という、主人公の介護士・大森さんの言葉が突き刺さります。こんな姿勢で人と向き合うのは、言葉で言うほど簡単ではないことでしょう。

★「スローシネマ上映会」を開催しよう

このような、ある映画製作実行委員会を通した上映会を自主的に催すことを、「スローシネマ」といいます。

愛知高齢協の事業所からも、「是非地元でも上映してほしい。」「地域の方にも観てもらいたい。」と声が上がり、今後も開催していくことを検討しています。

皆さんのご意見もお聞かせください。

理事会だより

２０１９年 3月３０日（土）、理事１４人、監事３人出席で、第６回理事会が開催されました。

●１月末の数値

組合員数	2,489名
出資金	61,590千円
供給高	27,109千円
原価	21,466千円
一般管理費	2,059千円
剰余	3,582千円

● 年度末一時金

事業高は減少気味ですが、例年度ベースにできるだけ近づけることと、事業所の利益率に基づき剰余の60％を支給します（社保、処遇改善加算含む）支給日は4月26日。計算対象は2018年4月～2019年2月活動分です。

●なごや平和福祉会事業存続に向け、次期役員改選で、高齢者生協から2名の理事を推薦することとし、平和福祉会の職員の組合加入をお願いしていきます。

●第23回通常総代会の件

2019年6月23日（日）13時半～16時半
愛知労働会館東館　大会議室にて開催します。
総代及び総代定数について、地域総代で一本化しました。

第二三回通常総代会議案（要旨）

六月二三日(日)、第二三回通常総代会が開催されます。討議用資料として二〇一九年度方針（要旨）を掲載します。各地域、職場や総代会出席の際にご活用願います。

組織・運動

組織・運動は、今の社会情勢を踏まえ、高齢者生協のすすむべき姿を市民・社会に広げていくためのものです。

日本高齢者生活協同組合連合会では、上の図表にある三つの課題としての機能を組合員の自主的な活動から創り出し、地域コミュニティの再生に貢献しようと提起されています。

「２０１８モデル」から「２０２１モデル」へ
～２０１８モデルの発展形をイメージする～
日本高齢者生活協同組合連合会

実践型「２０２１モデル」の課題

- ●市民参加型【訪問・見守り・居場所】機能
  - ➡多様な制度活用と、行政・地域と連携した、認知症の一人歩きが当たり前の地域づくりへ
- ●共生型【医療・多職種連携】機能
  - ➡在宅介護・看取りのニーズに向き合う、経験を寄せ合い高齢協ブランドの「自主事業」づくりへ
- ●協同組合らしい【よろず相談窓口】機能
  - ➡健康づくりと学習・懇談会を複合的に展開する、社会連帯・つながりの「場」づくりへ

愛知高齢協としてもこの方向性を一致させ、「協同」の力で後述の具体的課題を推進し、「独りぼっちの高齢者をなくそう」「元気な高齢者はもっと元気に」の理念にふさわしい活動を進めていきます。

1、組合員拡大

（１）組合員数二六〇〇名を引き続きの目標とします。（一〇〇名増）

（２）組合員拡大推進月間は二〇一九年一〇月一日～一二月三一日までの三か月

2、組合活動

（１）たまり場活動の充実

【元気な高齢者の活躍の場を創り出そう】

ア）「えのきの家　交流広場」での多彩な活動を継続発展させ、幅広い地域の方々が集える場としていきます。

イ）地域福祉事業所を拠点とした、サロン、健康教室、介護相談会、子ども食堂、祭り等のイベントを開催し、地域に開かれた「たまり場」としての機能をつくり上げていきます。

ウ）学習支援の場の提供など、地域で社会的困難を抱えている幅広い年齢層に視野を広げ、交流を図っていきます。

エ）地域の社会福祉協議会や年金者組合など、高齢者の集う場づくりを推進する団体とも連携していきます。

昨年開催した第２２回総代会

（２）生き生き旅行

昨年度の旅行委員会で検討してきた計画が具体化されました（＊別ページに案内掲載）。多くの組合員を誘い、成功させていきましょう。

（３）文化講座・サークル活動

既に実施している教室を始め、担い手となる指導者を募り、メニューをひろげます。

ア）本部・えのきの家でのパソコン教室

イ）えのきの家でのマージャン、絵画教室、着物リフォーム、ニットカフェーを継続すると共に、随時開催の物づくり教室、歌声喫茶をはじめ、多彩な教室メニューを広げます。

（４）高齢者生協「助け合い活動」の強化

ア）地域福祉事業所を中心に「助け合い活動」に参加する組合員を増やします。

イ）担い手の発掘に向けて、地域向けのチラシを配布し、地域の世話役を募っていきます。

（５）昨年に引き続き、設立当初の加入者の安否確認を行います。

マンツーマン指導で好評、パソコン教室

3、地域団体とのネットワーク

（１）あいち在宅福祉サービス事業者懇談会（あいち在宅福祉懇）会が行う調査活動や学習会などに積極的に関与し、高齢協が担う「事業者協同」「地域協同・連帯」の輪を広げます。

（２）年金者組合、高齢者福祉をよくする会

地域の高齢者の福祉や生活に関わる問題の改善に向けて、会の運営に参加していきます。

（３）地域の事業者連絡会、自立支援協議会への参加

地域福祉事業所毎の連絡会や協議会に積極的に参加し、地域の実情を把握すると共に、参加事業所との情報交換を深め、地域福祉の諸問題についての共有と連携を図りながら、地域の福祉力を高めていきます。

（４）地域の諸行事への参加

町内会、老人会等との関わりを作り、地域行事にも積極的に参加し、地域との繋がりを強めます。

あいち在宅福祉懇

地域労協会議in愛知

4、連合会を通した全国との交流

【日本高齢者生活協同組合連合会】

ア）全国の高齢協の先進事例に学び、全国観点に立った事業・活動を展開します。

イ）西日本ブロック会議

☆　今年度西日本ブロック会議予定

第１回　八月一七日（土）～一八日（日）

【会場・和歌山】

第２回　一一月二三日（土）～二四日（日）

【会場・愛知】

第３回　一二月一五日（土）～一六日（日）

【会場・香川】

☆ガバナンス・マネジメント研修

九月一九日（木）

☆連合会リーダーセミナー

三月二〇日（金・祝）

ウ）東海ケアワーカー研修交流会

今年度は三重が担当します。東海エリアとして、三重高齢協及び関連団体とともに研修交流会を実施し事業所発展に向けて取り組みます。

オ）震災復興支援

東日本大震災と福島原発事故から八年が経過しました。今なお五・二万人が避難生活を強いられています。特に福島県では、避難指示が解除された地域で居住者も未だ住民登録数の二三％、児童・生徒数は原発事故前の一〇％と言われており、住民の帰還も被災地の復興もありません。日本高齢者生協連合会では震災発生以来支援を続けてきましたが、連合会の呼びかけに応え、引き続き「原発廃止」の運動に取り組んでいきます。

5、憲法二五条を暮らしに活かすとりくみ

安倍政権下で、医療、年金、福祉等社会保障全般に及ぶ総改悪が推し進められ、憲法二五条の生存権が危うくなっています。私たちは、国民が安心して暮らし続けられる社会の実現のために、制度改悪を許さない立場でとりくみをすすめます。

6、平和を守る取り組み

「憲法九条改憲ＮＯ！三千万署名」全国統一署名、「被爆者国際署名」以外にも、在日米軍の沖縄基地を撤去するため、高齢協連合会をはじめとする関係諸団体との連帯をすすめ、必要な行動を進めます。

事業・経営

1、事業高目標

三億八千万円を目指します。

2、新規事業

（１）一昨年来の課題となっている春日井ぬくもりでの小規模多機能型居宅介護事業の立上げ準備をすすめます。

（２）事業所拠点での総合化・複合化をすすめていきます。一宮まったりは、居宅介護支援に続き、訪問介護事業の立上げ準備をすすめます。

3、コミュニティケアの充実

高齢者～子どもまで、地域の中で困難を抱える人々に視野を広げ、総合的・複合的に共生ケアをめざした地域福祉事業所運営をすすめます。

（１）地域の実情に応じた事業に挑戦し、困難な事例にも目をそむけず、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい」高齢者・障がい者（児）の願いに応えるため、あらゆる社会保障制度を活用して利用者の生活を支えていきます。

共生型サービスに向けて設備を整えたデイサービスまったりの浴室

（２）デイサービスでの地域運営推進委員会を基礎に、地域の困りごとを共に考え、支援者の輪を広げていけるような、地域に開かれた事業所運営をめざします。

（３）認知症、重度化、医療的ケアに応えられる人材を育成し、様々な利用者に応えていける体制をつくります。また、介護職員が年齢を重ねても助け合い活動に参加できることをアピールし、事業所活動を豊かに広げていきます。

（４）共生型事業の推進

昨年度認可された一宮まったりでの共生型サービスの事業実態を創り上げていくと共に、新たな共生型事業を追求していきます。

（５）障がい者就労支援の推進

既存の事業所での障がい者の受け入れを推進し、制度を活用した障がい者の就労支援事業についても検討していきます。

春日井ぬくもりで始まった「かかしカフェ」

管理・運営

1、経営指標

健全な事業経営をすすめるため、引き続き事業所原価八五％、一般管理費一〇％、剰余五％を指標とします。

2、出資金

事業の安定化と、事業拡大をすすめるために、出資・増資は欠かせません。組合員拡大とあわせ、増資の呼びかけを強めます。

（１）今年度の増資目標　六千五百万円（四〇〇万円増）

（２）職場組合員へ月給与の二～三ヶ月の積立増資を呼びかけていきます。

（３）地域組合員、たより読者など増資を広く呼びかけていきます。

3、介護職員の処遇改善

（１）内部研修

ア）新入職員研修を七月一二日（金）に開催。

イ）職員研修規程に基づき、スキルアップの研修を支援します。

ウ）訪問介護・サービス提供責任者、通所介護・生活相談員対象の研修会議を継続発展させるとともに、居宅介護支援事業所・ケアマネジャーの会議研修を新たに位置づけ定着させます。

エ）地域福祉事業所代表者会議

今年度は、岡崎かけはしが開催担当します。今後は事業所の管理者、事業所リーダーに絞って次年度方針・予算、課題などをより実践的、具体的に深める場とします。

○日程：三月二一日（土）～二二日（日）

○担当：岡崎かけはし

カ）ケアワーカー集会

全職員や組合員など広範な人に呼びかけ、映画上映や講演会と高齢協の各事業所の事例発表を行う場として開催します。

（２）現場見学会

ア）働くデイサービスの実践を学び事業所運営に反映させていくため、奈良の「おたがいさん」の見学研修を計画します。

イ）春日井ぬくもりで小規模多機能型居宅介護事業実施にむけた、施設の見学の設定。

ウ）共生型事業への移行や障がい者就労支援事業の実施等にむけた該当施設見学。

（３）外部研修

事業所運営会議の中で必要な研修を選定し、対象となる受講職員への研修費用を助成します。

二〇一八年は千葉のデイサービスあじさいなどを見学しました。

4、事業所運営会議

事業所の管理者・所長を対象に、定期開催。

5、介護職員養成研修

（１）介護職員初任者研修

（２）行動援護、同行援護、喀痰吸引（第三号）

6、職場のメンタルヘルス

年一回の健康診断の徹底と、管理者等による職員の個別面談を実施します。

7、コンプライアンスの徹底

（1）法令順守とリスクマネジメント

ア）日常的な運営における法令遵守を徹底します。業種別リーダー研修を活用し、事業所の運営状況を把握すると共に、不備な点は速やかに改善していきます。

イ）実地指導は、指摘内容を法人全体で共有。

ウ）リスクマネジメントは「各事業所で計画を立て、年一回」の学習会。

（2）制度改定に伴う書類の整備

（3）相互監査

8、広報活動の充実

（1）本部・事務局、各事業所から広報担当者を選任し、機関紙「たより」、ホームページ、ブログの連携を図ります。

（2）各事業所の営業・広報活動を強化し、事業所ニュースを月一回発行します。

9、本部・事務局機能の体制強化

岡崎かけはしのブログトップページと「たより」

愛知県高齢者生活協同組合　第23回通常総代会のご案内

愛知県高齢者生活協同組合・定款に基づく第２３回通常総代会を下記のように開催します。

●日時　２０１９年6月２３日（日）午後1時３０分～4時３０分（予定）

●場所　金山労働会館・東館２階会議室（金山総合駅東口から徒歩１０分、下記地図参照 ）

◇議題◇

1　２０１８年度事業並びに決算報告、監査報告の件

2　剰余金処分案の件

3　２０１９年度事業計画の件

4　定款の一部変更の件

5　役員報酬決定の件

6　借入金限度額の件

7　議案の効力発生の件

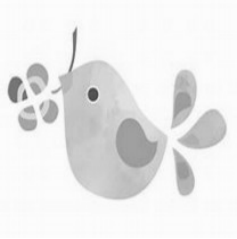
↓総代会会場の地図

愛知県高齢者生活協同組合・第２３回通常

地　域	対象市町村	代議員数
名古屋市東部	昭和区、瑞穂区、天白区、名東区	7
名古屋市西部	中区、中村区、西区、中川区	10
名古屋市南部	港区、南区、熱田区、緑区	6
名古屋市北部	北区、東区、千種区、守山区	27
尾張	春日井市、小牧市、尾張旭市、一宮市	27
三河	岡崎市、豊田市	23
計		100

愛知県高齢者生協～生き生き旅行～

美人の湯・昼神の里と満蒙開拓平和記念館（バスツアー）日帰りの旅



■日　程　　**平成 31年5月26日(日)　午前９時30分～午後５時30分**
■休憩宿　　**月川（げっせん）入浴・食事　　※月川　TEL0265-44-2321**
■参加費　　**お一人　一般８，０００円　組合員７，０００円、（交通費、入泉料、食事代、入館料込み）　前払いまたは当日払い**
■定　員　　**２０名（最少催行人員）　※組合員優先**
■ツアー日程（時間には交通事情などで多少の変動あり）

９：20高齢者労働会館前集合　⇒　９：30出発　⇒　10：30屏風山PA（休憩）10：40
⇒　11：30ホテル着　⇒　入浴　⇒　12：30昼食・宴会　⇒　14：30ホテル出発
⇒14：50満蒙開拓平和期記念館　⇒　15：50出発　⇒
16：50内津峠PA（休憩）17：00　⇒17：30高齢者労働会館到着予定

■申込み　下記申し込み書を、高齢者生協事務局までご提出下さい。
また、電話での予約も受け付けます。（申込み締切り４月２５日）
■注１　入浴の場合、フェイスタオルは無料ですがバスタオルは有料です。
シャンプー、ボディーソープの据え置きあります。持参も可能です。
注２　お子様の参加はご遠慮下さい。
注３　非組合員参加の方には、車中において、組合員手続きの説明をします。
この機に組合加入を頂ければ幸甚です。

主催：愛知県高齢者生活協同組合　名古屋市中区平和2-2-36　へいわ会館4F
TEL052-331-4853　Fax 052-331-2735　担当：野中

……キリトリ……

高齢者生協　生き生き旅行(美人の湯・昼神の里と満蒙開拓平和記念館)日帰りの旅

（生年月日：　　年　　月　　日）

ふりがな		性別	男　・　女
お名前		お電話番号	（　　）　－
ご住所		組合加入	組合員・一般（非組合員）